

日本カンボジア絆フェスティバル
向井理日本カンボジア親善大使メッセージ

日本カンボジア絆フェスティバルにお越しの皆様、向井理です。
2011年の10月に日本カンボジア親善大使に任命されました。

僕とカンボジアの出会いは2007年、ある番組がきっかけです。カンボジアの家族にホームステイをして、そこで畑を耕したり、地雷を除去したりする仕事を1週間行うという企画でした。わずか1週間の滞在だったのですが、ホームステイをした家族は、父、母、娘二人の四人家族でしたが、とても温かい家族でした。

その後2010年に、映画を撮るきっかけでまたカンボジアに行く機会を得たのですが、その際、その家族に再会するという番組を撮影しました。

その時は約1ヶ月カンボジアに滞在したのですが、プノンペンとシェムリアップの二大都市で、それぞれ2週間ずつぐらい生活しました。本当にたくさんの人にふれあう中で、美味しいものも食べましたし、きれいな建物とか、もちろん衝撃的な光景があった場所、例えばキリングフィールドとかトゥオルスラエン博物館とかエイズ病棟も行きました。ほんとうにカンボジアの人たちが温かく、食べ物が美味しく、住み心地の良い場所だったので、1ヶ月の滞在じゃ足りないくらい、まだまだ堪能し切れていないくらい、本当にすてきな国でした。

これから「僕たちは世界を変えることができない。」の映画をごらん頂きますが、日本編はもちろん、カンボジア・ロケのところも、ほとんどアドリブで、シナリオはありますけれども、ありのままの感じで描いた映画になっております。この映画は学生が実際にカンボジアで小学校を建てたという話を題材にしているのですが、そのサークルはまだ存続していて、建設した学校も残っていて、今後とも支援が必要だと思わせてくれる映画でもあるのかなと思います。

カンボジアの魅力というのは本当にたくさんあると思いますが、とにかく僕が出来ることは、その魅力を一人でも多くの日本の皆さんに紹介していくことだと思っています。

2012年という年が日本とカンボジアの結びつきの新しい一歩の年になればと思います。